

ゴボウの

品質向上と鮮度保持に！

カルシウム強化栽培！！



野菜として栽培され食べられているのは世界中で日本だけ！

低カロリーで！食物繊維が極めて多く！カリウム・カルシウム・

マグネシウムなどのミネラルも豊富で！薬用としての効能が

見直されているヘルシー野菜!!

【硫酸カルシウム肥料】



カルゲン®

【粉状・粒状】15 kg入り

ゴボウ栽培の特長

- ◆ 最適土壌 pH は 6.5~7.5 酸性土壌を嫌う
- ◆ 土壌の適応性は広いが、耕土が深く肥沃で、湿害に弱いため排水性のいい圃場を好む
- ◆ 生育適温は 20℃~25℃、耐暑性・乾燥には強い
- ◆ ゴボウは皮の部分に香りやうまみが集中しているので収穫遅れが無いように注意する
- ◆ 収穫が遅れるとす入りの原因となるが、生育中でも窒素過多や高温・過乾燥によっても発生する恐れがあるので対策としてカルシウムを施し、十分に吸収させておく
- ◆ 地上部でもカルシウムが欠乏すると新葉の展開が遅れ、根の発育も悪くなるので注意する

養分吸収量（収穫 1 トン当たり） kg

チッソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
7.3	2.6	9.6	5.3	0.8

カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元 肥	全面土壌混和	2 ~ 4 袋/10 a	定植前（他の肥料と同時施用）
追 肥 1	畝間に施用	2 袋/10 a	他の肥料と同時施用
追 肥 2	葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100~150ℓ/10a	1,000 倍液 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社